

令和 7 年 10 月 22 日

市政記者クラブ 様

健康福祉局健康部健康増進課

担当：加藤・法月（電話：972-2636）

（愛知県と同時発表）

「世界脳卒中デー（10 月 29 日）」に係る 市役所本庁舎ライトアップの実施について

世界脳卒中デーの 10 月 29 日（水）に、脳卒中の啓発を目的とした市役所本庁舎のライトアップを下記の通り実施しますのでお知らせします。

記

1 趣 旨

毎年 10 月 29 日は、世界脳卒中機構が定めた「世界脳卒中デー（World Stroke Day）」であり、今年のテーマは『「EVERY MINUTE COUNTS」脳卒中？1 分・1 秒でも早く救急車を！』です。

公益社団法人日本脳卒中協会では、脳卒中の症状と救急対応の必要性をより一層広めるため、普及活動を行っており、世界脳卒中デーキャンペーンの一環として、全国各地のモニュメント、建造物においてライトアップが実施されます。

本市においても広く市民の皆さんに世界脳卒中デーを知っていただき、脳卒中への理解を深めていただくため、市役所本庁舎をライトアップするものです。

2 日 時

令和 7 年 10 月 29 日（水）

午後 5 時から午後 10 時まで

3 場 所

名古屋市役所本庁舎時計塔

（名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 1 号）



4 その他

今回のライトアップは愛知県庁本庁舎においても同一日時に実施されます。

「世界脳卒中デー」とは

- 2006 年 10 月、南アフリカ共和国ケープタウンで開催された脳卒中国際会議で、国際脳卒中学会と世界脳卒中連盟が統合し、世界脳卒中機構 (World Stroke Organization, WSO) が結成され、これを記念し、毎年 10 月 29 日を「世界脳卒中デー」とすることが宣言されています。
- 世界脳卒中機構に加盟している公益社団法人日本脳卒中協会では、毎年 10 月 29 日に「世界脳卒中デー」キャンペーンを実施しており、プレスリリース、新聞広告、ポスター掲示などを行っています。
- 脳卒中は、発症後 1 分でも早く専門的治療を開始することによって後遺症を軽減することが可能です。世界脳卒中デーでは、脳卒中の症状と救急対応の必要性を啓発するため、『「EVERY MINUTE COUNTS」脳卒中？ 1 分・1 秒でも早く救急車を！』をテーマにキャンペーンを実施します。

「公益社団法人日本脳卒中協会」とは

- 脳卒中に関する正しい知識の普及及び社会啓発による予防の推進ならびに脳卒中患者の自立と社会参加の促進を図り、国民の保健、福祉の向上に寄与することを目的とし、脳卒中を発症した患者さんやご家族を始め、医療従事者、行政・福祉関係者、一般の方々への情報提供や調査研究活動などを行っています。

「世界脳卒中機構」とは

- 世界脳卒中機構は脳卒中との闘いを先導する世界的な組織です。2006 年 10 月に、国際脳卒中学会と世界脳卒中連盟が発展的に合併して設立されました。その使命は予防、治療、長期的ケアを通じて脳卒中の世界的な重荷を軽減することです。世界中の個人および支援団体を含む脳卒中関連団体が加盟する世界的な団体で、世界保健機構 (WHO) と公式な関係のある唯一の脳卒中に関する国際的非営利団体です。